

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	3-2-3		事業名	体育施設整備事業
担当	観光文化局スポーツ部施設課 淡路 TEL211-3045			
全 体 計 画				
事業内容	平成18年12月20日に施行された「高齢者、障がい者の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー新法)」及び福祉のまちづくり条例を踏まえ、スポーツ部所管体育施設についてエレベータ設置等バリアフリー化を進める。		＜年度別の事業内容＞	
			【当初計画予定】 H20年度 手稲区体育館実施設計 H21年度 手稲区体育館バリアフリー改修 厚別区体育館実施設計 豊平公園温水プール実施設計 H22年度 厚別区体育館バリアフリー改修 豊平公園温水プールバリアフリー改修 麻生球場実施設計 宮の沢屋内競技場実施設計 藤野野外スポーツ交流施設実施設計	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	・事業計画の策定 (都市局建築部で策定した市有建築物中期整備計画の項目に沿って、スポーツ部所管の体育施設の身障対応エレベータ設置及び身障対応トイレ改修といったバリアフリー化のみの事業計画の策定を行った。)		計画では手稲区体育館の実施設計を予定していたが、予算を確保できなかったため、計画を1年遅らせる見直しを行った。	
事業内容	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	計画では手稲区体育館の実施設計を予定していたが、予算を確保できなかったため、計画を1年遅らせる見直しを行った。		計画では手稲区体育館、厚別区体育館の実施設計を予定していたが、予算を確保できず実施することができなかった。	
事業場所				
事業規模				
事業件数				
事業等				

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	3-2-3			事業名	体育施設整備事業		
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)
体育施設のバリアフリー化(累計)		3施設	3施設	3施設	3施設	3施設	6施設
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 利用者の意見を取り入れたバリアフリー化の実施検討</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力](該当なし) [情報協力](該当なし) [その他の協力](該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>							
評価(成果)				課題			
平成19年度に事業計画の策定を行ったが、平成20年度、21年度、22年度に行う計画であった実施設計は予算の確保ができず実施できなかった。				事業の必要性について、財政局財政部及び都市局建築部と引き続き協議し、事業を進めていく必要がある。 また、バリアフリー化改修工事単独ではなく、機能改善や施設長寿命化のための大規模改修とあわせて行っていく等の検討を行う必要がある。			
今後の事業の予定・方向							
効率的な改修ができるよう保全事業とあわせて行っていく等、財政部及び建築部と協議を進めていく。 バリアフリー化については、福祉のまちづくりの観点や利用者の利便性からできるだけ早急に対応する必要がある。							

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		3-2-3			事業名	体育施設整備事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	0	1,231	18,589	36,180	56,000				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0			
		市の債	0	0	10,000	10,000	20,000			
		その他の	0	0	0	0	0			
		一般財源	0	1,231	8,589	26,180	36,000			
予算	事業費	0	0	0	0	0				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0			
		市の債	0	0	0	0	0			
		その他の	0	0	0	0	0			
		一般財源	0	0	0	0	0			
実績	事業費	0	0	0	0	0				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0			
		市の債	0	0	0	0	0			
		その他の	0	0	0	0	0			
		一般財源	0	0	0	0	0			
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)					0.0%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》 予算の確保ができず実施できなかった。 [19年度] [20年度] [21年度] [22年度]										